

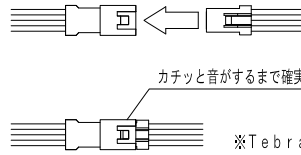
※全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい

1 電気錠ハーネスの取付け

結線指示書に従って各コネクタを接続して下さい。

⚠ 錠ケースが取り出しできる様に扉の配線は、10cm以上たるませて下さい。

⚠ コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んで下さい。



※Tebraシリーズに付属されるコネクタは防水コネクタを使用しております。コネクタに防水テープを巻きつける作業は不要です。

2 錠ケースの取付け

錠ケースを取付ネジで取り付けて下さい。

⚠ 2ロックの上部側、下部側はラベルに記載されております。上下を間違えない様に取り付け願います。

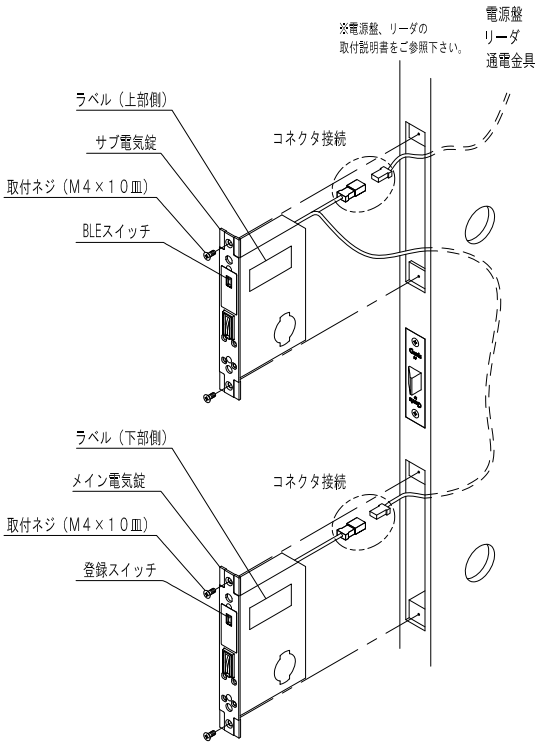
3 ストライクの取付け

【対震ストライクの場合】 : トロヨケユニット、ストライクをそれぞれの取付ネジで取り付けて下さい。

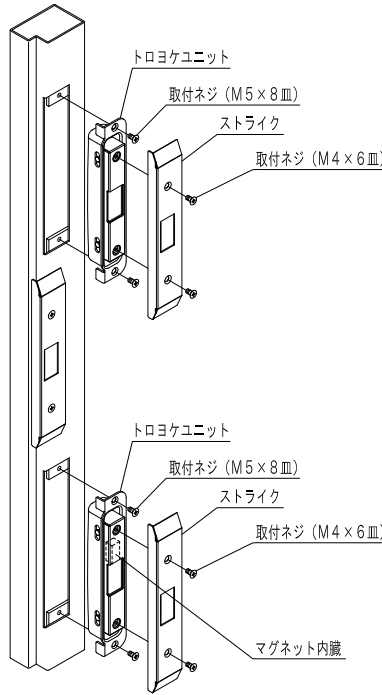
【標準ストライクの場合】 : トロヨケとストライクを取付ネジで取付けて下さい。

⚠ マグネット付のストライクは下部側に取り付けて下さい。

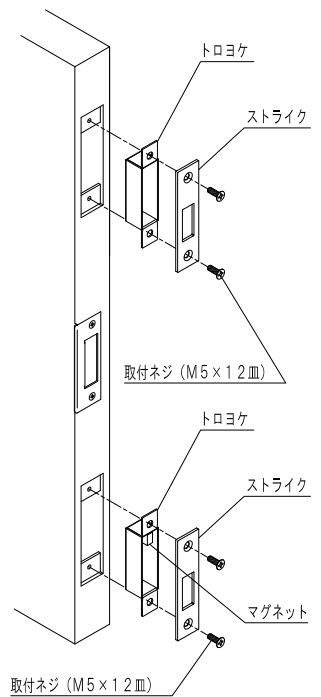
【錠ケースの取付け】



【対震ストライクの取付け】



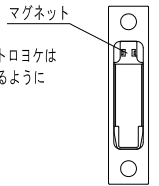
【標準ストライクの取付け】



⚠ マグネット付対震ストライクには左右勝手があります。取り付ける際は、扉の左右勝手をご確認願います。(本図は、右勝手の場合を示します。)

⚠

メイン電気錠用(下部側)のトロヨケは必ずマグネットが上向きになるように取り付けて下さい。



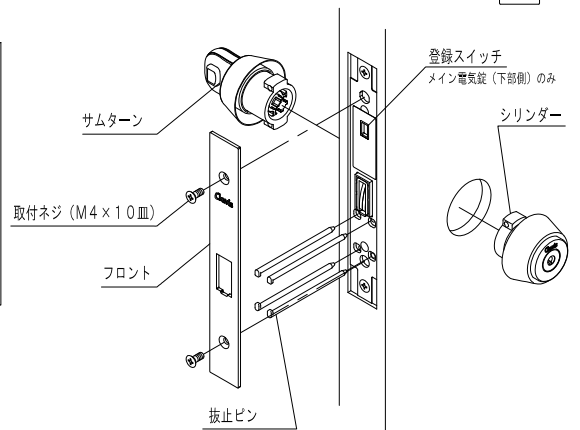
4 シリンダー・サムターンの取付け

「Clavis」刻印が見えるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンで固定して下さい。

⚠ サムターンは、ツマミが解錠時は「縦」施錠時は「横」になるよう取り付けてください。

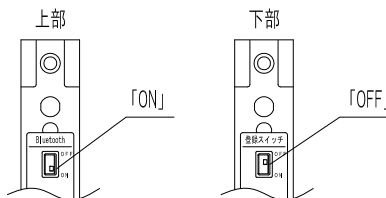
⚠ 封印シール

コンストラクション装置付シリンダーを取り付ける場合は封印シールが貼付されたものを上部側に取り付けて下さい。



5 フロントの取付け

サブ電気錠(上部側)のBluetoothスイッチが「ON」であること、メイン電気錠(下部側)の登録スイッチが「OFF」であることを確認し、フロントを取付ネジで取り付けて下さい。



6 動作確認

サムターンで正常に施錠できるか確認して下さい。

本図は横型、縦型共通の取付説明書です。
 違いは **2** のみ異なります。
 ※下図説明は横型。

1 結線及びコネクタの接続

1) 付属の補助コードと、壁から出ているハーネスを結線してください。

! 各機器の配線色と同色になるように結線してください。

2) キャンセラのコネクタを丸穴切欠きを通して、小コネクタと接続してください。

3) 大コネクタ・アース端子を取付ブラケット切欠きを通して、大コネクタと補助コードを接続してください。

※ 接続後、取付ブラケットの切欠きからコネクタとハーネスを外部へ出しておくと、リーダの取付がスムーズに行えます。(★参照)

2 リーダ・キャンセラの取り付け

1) リーダをパネル切欠きに差し込み、パネルの裏側からキャンセラと同時に取付ネジで取り付けてください。

キャンセラは、取付プレートの刻印が正立する向きで取り付けてください。(★参照)

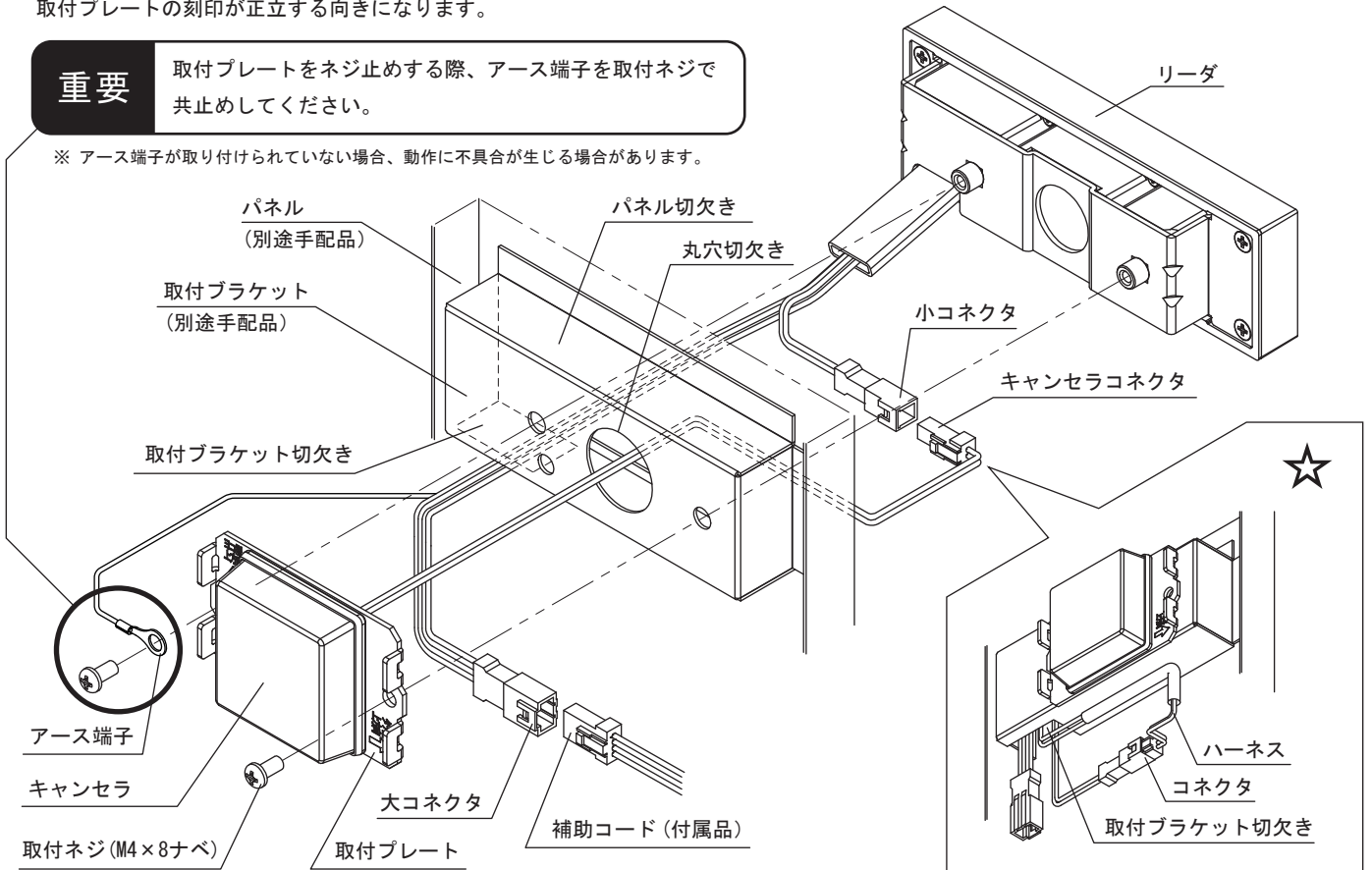
取付プレート裏面の位置決め突起と位置決め穴を合わせると、

取付プレートの刻印が正立する向きになります。

重要

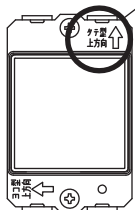
取付プレートをネジ止めする際、アース端子を取付ネジで共止めしてください。

※ アース端子が取り付けられていない場合、動作に不具合が生じる場合があります。



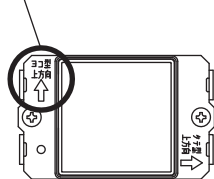
★ **【縦型の場合】**

「タテ型上方向↑」の刻印が正立する向き



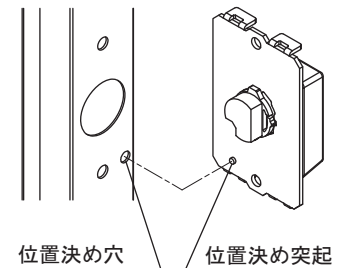
【横型の場合】

「ヨコ型上方向↑」の刻印が正立する向き



【キャンセラ位置決め突起について】

取付プレート裏面の位置決め突起と位置決め穴を合わせるように取り付け下さい。
 取付プレートの刻印が正立します。



3 パネルの取り付け

1) パネルの取り付け方法は納まりによって変わる為、パネル製作メーカーに問合せください。

※取り付け完了後、正常に作動している事を必ず確認してください。

安全のために

感電・漏電・火災等の事故や、故障の原因となりますので、この取付説明書に示した注意事項を必ずお守りください。

- 操作電源盤 (NPS24-01) は、扉周りや窓の近く等、室外から容易に解錠操作できる場所には設置しないでください。
- 雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの多い場所には設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く等、高温となる場所には設置しないでください。
- AC100V以外の電源は使用しないでください。
- AC100V電源の工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎによって破損又は動作不良となる場合がございます。
- 製品の分解・改造はしないでください。
- 水等の液体をかけた時、水にぬれた手で触らないでください。
- 結線作業の前に必ずブレーカーを落として下さい。

操作電源盤 (NPS24-01)、電源盤 (NPS24-02)

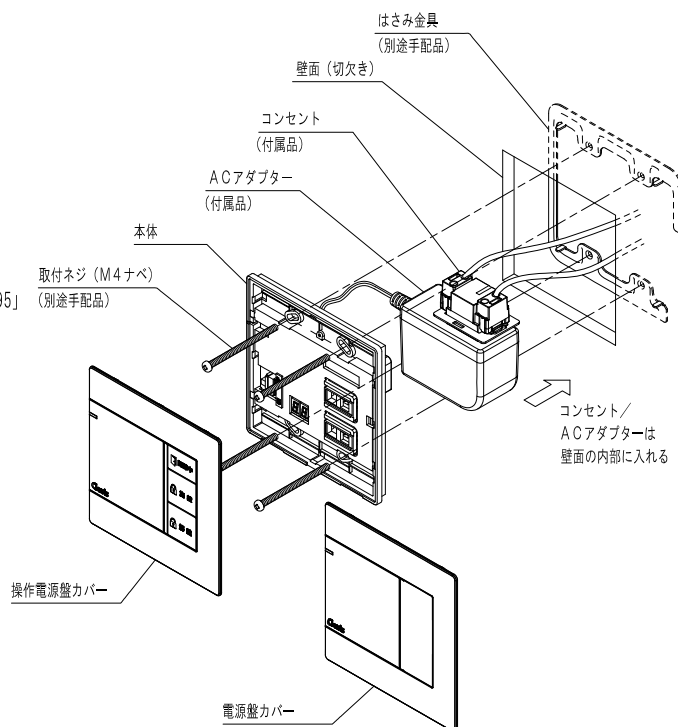
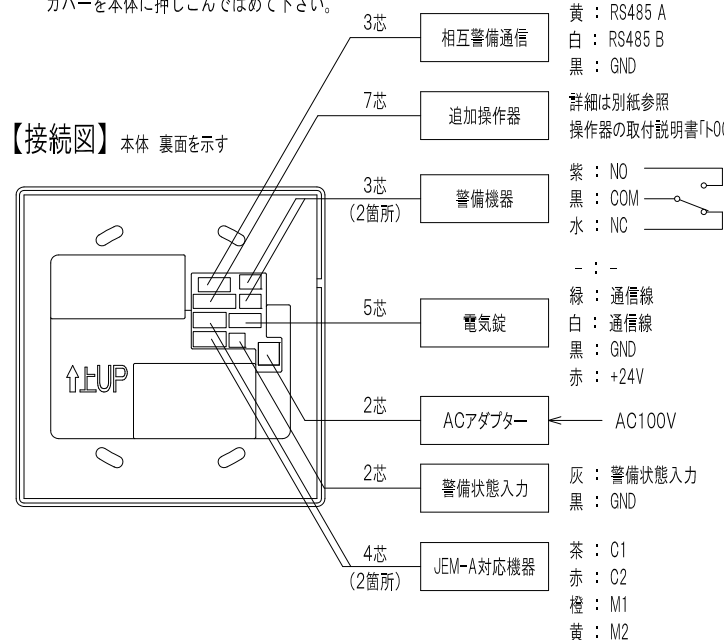
操作電源盤 (相互警備通信) (NPS24-01G)、電源盤 (相互警備通信) (NPS24-02G)

1 結線及び本体の取り付け

各機器を本体に接続し、AC100Vが結線されたコンセントにACアダプターを差し込み、壁面の内部に入れ、はさみ金具 (別途) と取付ネジ (別途) で本体を固定して下さい。

2 操作電源盤カバー又は電源盤カバーの取り付け

カバーを本体に押しこんではめて下さい。



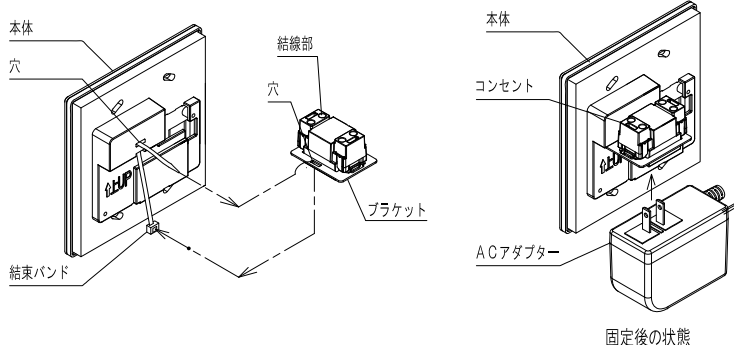
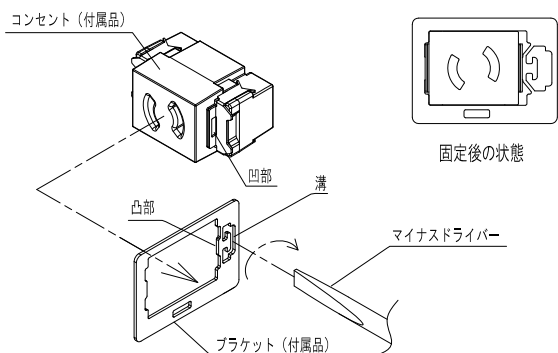
【注意】 ACアダプターが壁面内にぶら下がる場合は、下記要領で本体裏面にコンセントを固定して下さい。

1 コンセントとブラケットの固定

コンセントをブラケットに差し込んで下さい。
マイナスドライバーをブラケットの溝に挿入した状態でこじる様に回転させ、ブラケットの凸部をコンセントの凹部に差し込んで下さい。

2 ブラケットと本体の固定

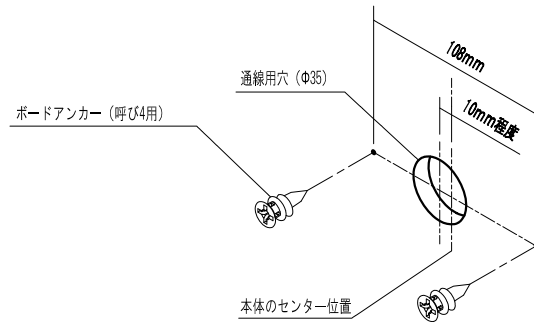
本体裏面の穴とブラケットの穴に結束バンドを通して固定して下さい。
※図のように結線部が上向きになるように固定すると壁面内でコンパクトに納まります。



ゲートウェイ (NGW24-01)

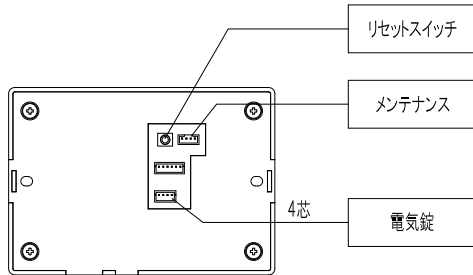
1 壁面への切欠き

壁面にΦ35の通線用の穴をあけ、ボードアンカー (付属品) を取付けて下さい。

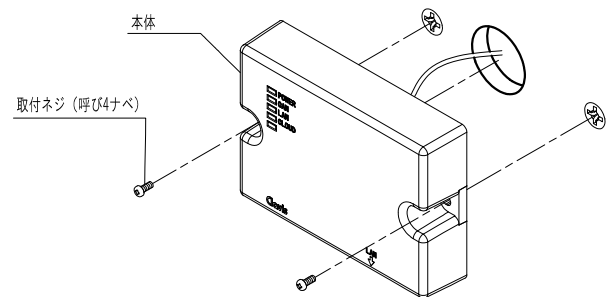


2 電気錠コネクタの結線と本体の取付け

本体裏面の『電気錠』コネクタに電源盤接続ハーネスを差し込んで、本体を取付ねじ (付属品) で固定して下さい。



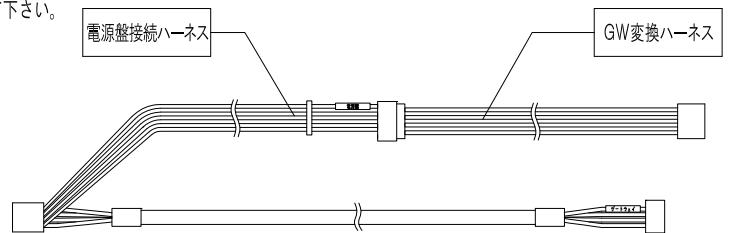
赤	+24V
緑	CAN H
白	CAN L
黒	GND



⚠ ゲートウェイに電気錠コネクタを接続する場合は必ず電源盤 (操作電源盤) の電源スイッチをOFFの状態で作動して下さい。

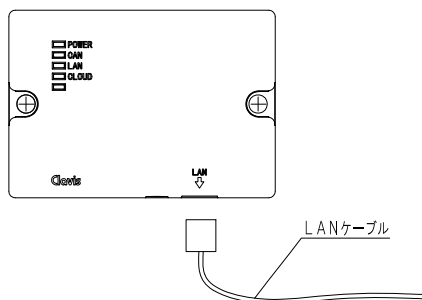
⚠ ゲートウェイに付属している電源盤接続ハーネスをご使用する場合、ゲートウェイと電源盤 (操作電源盤) の取付け位置は80cm以内で設置して下さい。80cm以上離れた位置に電源盤 (操作電源盤) を設置する場合は、電源盤接続ハーネスがご利用になれませんので、別途ご相談ください。

⚠ 電源盤接続ハーネスには必ずGW変換ハーネスが接続されていることを確認して下さい。



3 LANケーブルの接続

本体下面の『LAN』コネクタにLANケーブルを差し込んでください。



⚠ LANケーブルが壁内に配線されている場合は、ゲートウェイの下側に別途配線穴をあけてください。

4 ゲートウェイの接続確認

電気錠、電源盤 (操作電源盤)、ゲートウェイの接続が完了した後、電源盤 (操作電源盤) の電源スイッチをONにしてゲートウェイに設置されたLEDにて接続状態を確認して下さい。

LED (5箇所)	点灯 (正常)	点滅 (未ペアリング機器との接続 及び ペアリング中)	消灯 (電源未投入)
POWER	点灯 (正常)	点滅 (未ペアリング機器との接続 及び ペアリング中)	消灯 (電源未投入)
CAN	点灯 (正常)	点滅 (IPアドレスが取得出来ない 及び 取得中)	消灯 (未接続)
LAN	点灯 (正常)	点滅 (クラウドと接続出来ない 及び 接続準備中)	消灯 (未接続)
CLOUD	点灯 (正常)	点滅 (ゲートウェイIDの設定不備)	消灯 (アプリケーション異常)